

公 告

富士石油健康保険組合
理事長 平野 雅洋
(公 印 略)

2019年度決算および事業報告の概要について

健康保険組合の運営に関し、平素よりご配慮・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。7月15日に第95回組合会を開催し、2019年度決算、決算残金処分および事業報告が承認されましたのでご報告いたします。

1. 一般勘定（健康保険）

- (1) 経常収支は、収入総額 349 百万円に対して支出総額は 346 百万円となり、3 百万円の黒字決算となりました。
- (2) 収入支出の時間差による手許資金の不足を補うために、別途積立金から 34 百万円を繰入れて対応しました。
- (3) その結果、総合収支は、収入総額 395 百万円、支出総額は 352 百万円となり、収支差引額（決算残金）は 43 百万円となりました。
- (4) 決算残金 43 百万円のうち財政調整事業拠出金に計上する 33 千円を差し引いた残金全額を別途積立金に積み立てました。
- (5) その結果、別途積立金残高は、前期末比 9 百万円増の 231 百万円となりました。

(経常収支の前年度比較)

経常収入は、過去2年連続で引き上げた健康保険料率を千分の78に据え置きとした結果、2018年度とほぼ同額の349百万円になりました。

経常支出は、保険給付費が2018年度比13百万円増加するとともに高齢者医療にかかる納付金が2018年度比21百万円増加したことなどから、39百万円増加し346百万円となりました。

その結果、経常収支は2018年度の41百万円の黒字から38百万円減少し3百万円の黒字となりました。

収入決算・予算比較

科目	決算 (千円)	予算 (千円)	増減 (千円)
健康保険収入	339,515	338,130	+1,385
保健事業一部負担金	4,611	5,584	▲973
法定健診受託料	2,040	2,082	▲42
その他	2,379	2,382	▲3
(経常収入計)	(348,545)	(348,178)	(+367)
調整保険料収入	6,384	6,398	▲14
別途積立金繰入	34,000	54,623	▲20,623
高額医療交付金	1,355	1,299	+56
その他	4,918	739	+4,179
(その他収入計)	(46,657)	(63,059)	(▲16,042)
収入合計	395,202	411,237	▲16,035

支出決算・予算比較

科目	決算 (千円)	予算 (千円)	増減 (千円)
事務所費・組合会費	30,132	28,803	+1,329
保険給付費	134,795	148,819	▲14,024
納付金	146,740	146,811	▲71
保健事業費	33,397	41,274	▲7,877
その他	777	1,116	▲339
(経常支出計)	(345,841)	(366,823)	(▲20,982)
財政調整事業拠出金	6,331	6,398	▲67
予備費	0	38,000	▲38,000
その他	6	16	▲10
(その他支出計)	(6,337)	(44,414)	(▲38,077)
支出合計	352,178	411,237	▲59,059

収支決算・予算比較

	決算 (千円)	予算 (千円)	増減 (千円)
収入	395,202	411,237	▲16,035
支出	352,178	411,237	▲59,059
収支差引額	43,024	0	+43,024
経常収入	348,545	348,178	+367
経常支出	345,841	366,823	▲20,982
経常収支差引額	2,704	▲18,645	+21,349

2. 介護保険

- (1) 収入総額 49 百万円に対して支出総額は 44 百万円となり、差引決算残金は 5 百万円となりました。
- (2) 収入支出の時間差による手許資金の不足を補うために、準備金から 6 百万円を繰入れて対応しました。
- (3) 決算残金 5 百万円は全額準備金に積み立てました。
- (4) その結果、準備金残高は、前期末比 1 百万円減の 12 百万円となりました。

収入支出決算・予算比較

科目	決算 (千円)	予算 (千円)	増減 (千円)
介護保険収入	42,475	42,873	▲398
繰入金	6,000	6,000	0
国庫補助金収入他	492	2	+490
収入合計	48,967	48,875	+92
介護納付金	43,568	43,569	▲1
その他	60	5,306	▲5,246
支出合計	43,628	48,875	▲5,247
収支差引額	5,339	0	+5,339

3. 保健事業の実施概要（総事業費 33,397 千円）

(1) 特定健康診査（事業費 3,095 千円）

40 歳以上の全被保険者・被扶養者を対象に、人間ドック等の結果を利用して実施しました。受診率は 80.5%（被保険者 94.0%、被扶養者 57.1%）でした。

(2) 特定保健指導（事業費 335 千円）

特定健康審査の結果から対象者を選定して実施し、動機づけ支援 6 人、積極的支援 8 人が完了しました。実施率は 19.2%（動機づけ支援 25.0%、積極的支援 16.3%）でした。

(3) 保健指導宣伝（事業費 850 千円）

医療費通知	加入者および健保が支払った医療費を対象者全員に通知しました。
健康情報提供	KenCom 情報サイトを通じた健康情報の提供、自身の健診履歴の閲覧など、加入者の健康維持・促進に資する事業を行いました。
健康情報月刊誌	健康保険の理解促進を目的に、事業所に配布しました。

(4) 疾病予防（事業費 24,112 千円）

人間ドック	35 歳以上の被保険者、45 歳以上の被扶養者を対象に実施し、受診率は 76.5%（被保険者 85.8%、被扶養者 57.6%）でした。オプションとして、がん検診および脳ドックを実施しました。
生活習慣病健診	30 歳以上 35 歳未満の被保険者、30 歳以上 45 歳未満の被扶養者を対象に実施し、受診率は 31.6%（被保険者 31.8%、被扶養者 31.5%）でした。
慢性疾患の重症化予防	対象者中 3 人が実施しました。
歯科健診	被保険者を対象に歯石除去、ブラッシング指導等を実施しました。受診者は天王洲 25 人、袖ヶ浦 55 人でした。
保健師派遣受入	事業所ごと各 1 日実施し、延べ 14 人が面談指導を、9 人が文書による指導を受けました。
訪問健康相談	前期高齢者被扶養者を対象に実施し、2 人が参加しました。
インフルエンザ 予防接種補助	10 月～1 月の接種者を対象に、加入者一人あたり 3 千円を上限とする補助を実施し、利用率は 48.6%でした。
家庭用常備薬購入補助	利用者 361 人、利用率は 47.4%でした。
健康セミナー	袖ヶ浦で 1 回開催し、適切な食事と運動の理解を図るとともに、継続可能な目標設定の方法を学びました。

(5) 体育奨励（事業費 509 千円）

年 2 回ウォーキング行事を実施し、春季 144 人、秋季には 146 人が参加しました。1 ヶ月間の歩数に応じて賞品を付与しました。

(6) 宿泊費補助（事業費 2,300 千円）

国内施設宿泊者に年度内 1 回、大人 8 千円、子供 4 千円を限度に補助を実施しました。利用者数は 311 人でした。

(7) 借上保養所（事業費 2,196 千円）

7 月から 9 月末までの 3 ヶ月間、山中湖畔山荘 1 棟を借り上げ、被保険者等の利用に供しました。利用者数は 227 人でした。

以上